

平成31年度

七谷小学校の教育

加茂市の目指す子ども像

豊かな心でたくましく実践する子ども



教育目標 ゆたかなまなび たのしいなかま げんきなからだ

重点目標 とともに高め合う 七谷っ子

知：自分の考えをもち 進んで伝え合う子

徳：互いに認め合い 責任をもって活動に取り組む子

体：めあてをもち励まし合って運動や活動に取り組む子

すべては

未来を生きる

七谷っ子のために

【各教科・総合的な学習等】

【道徳・特別活動】

【健康教育・体育】

◎授業の中に自分の考えと友だちの考えを交流させる場を設け、友だちの考えを生かして自分の考えをまとめたり、発表したりできる力を育てます。

○「話し合いをして、自分の考えをまとめる時に友だちの考えを生かすことができた」と回答する児童の割合80%
(根拠に基づいてまとめる)

◎地域の人・自然・文化とかかわり、ふるさとへの愛着の気持ちを高め、探究的な活動を通して課題解決力を育てます。

○各学年の課題や各自が追求した課題のまとめを目標とする字数以上にまとめられる児童の割合80%
(低 200字 中 400字 高 600字)

◎学級活動や児童会活動(縦割り班活動)を通して、自分の役割をやり遂げようとする態度を育てます。

○「自分の役割や当番活動を最後までやり抜き(忘れずに行い)全校や学級の力になれたと感じる」と回答する児童の割合80%

◎授業や友だちとのかかわり合いを通して、自己有用感を高めます。
(「七谷のやる木」をさらに活用する)

○「先生や周りから『ありがとう』と言われる、『うれしかった』『よかった』と思ったことがあると回答する児童と職員の肯定的評価の割合80%

◎体育の授業やチャレンジタイムで、互いに教え合い、励まし合いながら楽しく運動に取り組む意欲と態度を育てます。

○「めあてに向かって一生懸命頑張った」と肯定的に回答する児童の割合80%
(頑張りカードを作成し、終わるごとに振り返りを行う)

◎家庭と協力し、よりよい「食生活」や「生活習慣」をつくり出そうとする態度を育てます。

○生活習慣改善の取組(「ばっちり週間」)の振り返りで「6時30分までに起きている」と回答する児童の割合80%

【特別支援教育の推進】 □一人一人の教育的ニーズに応じた指導方法を工夫します。

□個々の個性や能力を認め、活かし、伸ばして毎日楽しく生活ができるようにします。

保護者・地域と共に歩む特色ある教育活動の展開 ～開かれた学校づくりの推進～

七谷の伝統と豊かな自然を生かした教育活動の推進

- ・私たちの加茂川(調査活動や川遊びなど)
- ・七谷米づくり
- ・七谷の太鼓としの笛
- ・チャレンジウォーク
- ・サケの飼育と放流
- ・つつしが丘を活用した学習活動
- ・冬鳥越スキーガーデンでの雪遊びとスキー授業
- ・地域の生活を支えている施設等の訪問

【保護者や地域との連携】

- ・学校や学級の様子をたよりやホームページ等で伝えます。
- ・学校評価の結果を公開し、学校運営に生かします。
- ・授業や行事を積極的に公開します。(学期1回以上公開)
(孫親参観、教育懇談会、学習参観)
- ・児童の様子を連絡し合い、児童の健やかな成長に取り組みます。
- ・愛育会活動を通して環境整備や資源回収に取り組みます。

【保育園・中学校との連携】

- ・中越教育事務所中学校区訪問
- ・小中行動連携推進委員会
- ・小中合同文化祭
- ・運動会と体育祭への相互参加
- ・学校保健委員会
- ・民生児童委員懇談会
- ・保小情報交換会
- ・七谷の子どもを語る会 など